

四季の会



代表の石井須美子さん



帯の結び方について、ベテランからのアドバイス



二重大鼓の帯結びに挑戦中！

着物をもっと身近に。 四季の会で楽しむ着付けの世界。

四季の会は1975年に着付け教室として創設されました。現在は石井須美子さんが代表を引き継ぎ、気軽に着付けを学べる同好会として活動しています。技量の向上に加え、児童養護施設での成人式や七五三の着付け、国際交流イベントでの振袖の着付けなど、幅広い活動を行っています。

私たちが見学に伺った日は、昨年11月21日に開催された着付けの公開イベント「四季折々 着物と帯結び」に向けた練習が行われていました。イベントでは、普段着として親しまれる紬や小紋には帯を一重に結ぶすっきりとした「一重太鼓」を、式典などで着用される色無地や訪問着には格式の高い場にふさわしい「二重大鼓」を結ぶ様子が、市民活動支援センターで披露されました。

着物や帯は、自宅から持参される方が多いとのこと。着物は本来、季節に合わせて素材や柄を選ぶのが基本ですが、最近ではその日の気温に合わせて、裏地のない単衣や夏物などを柔軟に選ぶのが主流になっています。ある参加者の方が「昔は決まりがきっちりしていたけれど、今は時代や気候に合わせて楽しみ方を変えていくことも大切」と話されていたのが印象的でした。

参加者の方々にお話を伺うと、お母様やお祖母様から譲り受けた着物を“たんすの肥やし”にしてしまう前に、少しでも袖を通す機会を作りたいと、参加を始めた方が多いようでした。会



後ろ手に帯を結ぶのは大変



鏡の多いこの和室は練習もしやすい

に通ううちに、普段のお出かけで着物を着るようになったり、お茶会に参加してみたり、リサイクルショップで新しい着物を購入したりと、徐々に着物の奥深さにハマっていったという方も。帯だけでなく、帯揚げや帯締めといった小物を変えるだけで印象がガラッと変わるため、コーディネートを考える時間がとても楽しいのだそうです。

この日は、同窓会に着ていく着物や、娘さんの結婚式で着る黒留袖を自分で着られるよう練習している方もいらっしゃいました。ベテランも初心者も一緒になって和気あいあいと、着方やコーディネートを教え合う雰囲気は、厳格な「着付け教室」ではなく、自由な「同好会」ならではの良さだと感じました。

活動場所は、昨年11月にリニューアルオープンした「こまえみらいテラス」2階の和室です。以前の場所は鏡が少なかったそうで、鏡の多いこの和室は練習もしやすく、皆さんとても喜ばれていました。ご自宅に袖を通してない着物が眠っている方や、大切なイベントで着物を着てみたい方は、ぜひ四季の会の門を叩いてみてはいかがでしょうか。（取材記事：こまえくぼ広報部会 熊沢）

編集後記

皆さんが本当に楽しそうに活動されていて、心地よい時間が流れていました。「いつか自分で着物を着られるようになりたい」と思っていた私ですが、まずは「えいっ」と一歩踏み出してみることが大切なのかもしれません。

四季の会

開催日：月に3回の金曜日
時間：9:00~12:00
場所：こまえみらいテラス
会費：500円（月額）

問い合わせ先：
代表者：石井須美子
電話：03-3480-2391
メールアドレス：isiaaa@rapid.ocn.ne.jp